

プランクトン調査結果のお知らせ

平成25年6月26日11時から野見・須崎湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

勢井、白浜等で着色域が見られ、検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが再増殖していました。被害が想定される密度に達しているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

有害プラントン (cell/ml)

	水深	カレニア・ミキモイ	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ
湾奥ブイ	0m	21	0	1
	2m	129	0	2
	5m	0	1	0
馬の背	0m	113	0	0
	2m	137	0	1
	5m	4	0	0
勢井	0m	1,310	0	0
	2m	670	0	0
	5m	3	0	0
ガラク	0m	47	0	1
	2m	64	1	0
	5m	6	0	0
白浜	0m	1,050	0	1
	2m	193	1	0
	5m	5	1	0
津波防波堤内側	0m	0	0	0
	2m	33	0	2
	5m	1	0	0

漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモイ： 数百～数千cells/ml(へい死)
- ディクチオカ・フィビュラ： 赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ： 100cells/ml(餌食いの悪化)